

第2次糸島市長期総合計画基本構想（案）に対するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施概要

- (1) 意見等募集期間：令和元年11月21日（木）から令和元年12月20日（金）まで
- (2) 基本構想（案）の公表場所：市立公民館（15館）、市役所情報公開コーナー、市役所経営戦略課、市ホームページ
- (3) 意見等提出先：公表場所に設置した意見等回収箱に投函、経営戦略課に持参、郵送、ファックス、電子メール
- (4) 意見等提出状況：提出者数：43名 意見数：51件

2 提出された意見等の概要と意見等に対する考え方

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
まちづくりの重点課題 子育て・教育環境の充実（P22）		
1	<p>1. 子育て・教育環境の充実</p> <p>総合病院の誘致を期待したい。医療機関の充実は、定住促進につながる要因のひとつと考えられます。長期総合計画にそぐわないかもしれませんが一考をお願いします。</p>	<p>子育て・教育環境だけでなく、安心して生活を送るうえで、医療機関の充実は、大変重要です。</p> <p>基本構想（案）に「総合病院の誘致」を明記し、誘致することは困難ですが、P31の「消防・救急の充実」やP33の「健康・医療の充実」において、病院などの関係機関との連携による救急・医療体制の充実を図っていくことを記載しており、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>
まちづくりの重点課題 経済活性化（稼ぐ）への取組（P23）		
2	<p>3. 経済活性化（稼ぐ）への取組</p> <p>第1次、第2次産業を取り込んだ観光産業（体験・宿泊など）を観光協会とともに、企画・運営をお願いしたい。</p>	<p>P35の「観光の成長産業化」において、DMO法人（糸島市観光協会）を中心に地域資源を生かした体験型観光の提供や宿泊施設の増加促進による滞在時間の拡大などに取り組んでいくことを記載しており、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
3	<p>「農水産物」は他の表現の統一及び一次産業品の総称とすれば、「農林水産物」と改めた方がいいのではないのでしょうか？</p> <p>林業品を除外する理由があり、あえて除外しているのであれば、その理由の説明が必要と思われまます。</p>	<p>ご意見のとおり、基本構想（案）を変更します。</p> <p>《変更内容》</p> <p>23ページ</p> <p>3. 経済活性化（稼ぐ）への取組</p> <p>1行目 「農水産物」→「農林水産物」に変更</p>
<p>子育て・親育ちの支援（P26）</p>		
4	<p>第5章全体で言えることですが、該当する箇所を絞るなら26～27ページ。地域全体で子育て・親育ちを推進していくならば、教育・文化施設があまりにも貧弱。それどころかコミュニティを担う志摩歴史資料館などを廃止していくというのは、それに逆行していると思います。</p> <p>また、子どものいる場所、親のいる場所についても、検討していくべきではないのでしょうか。働きやすい環境づくり、切れ目ない学習支援は、そういった所から生まれてくるように思います。</p>	<p>P26の「保育・教育環境の充実」において、学校施設の計画的な改修・更新、特別支援学校の整備促進、P27の「切れ目ない学習機会の充実」において、地域で子どもを育む環境づくりに取り組んでいくことを記載しています。</p> <p>また、P41の「公共施設マネジメント」において、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の統廃合や機能集約、施設の長寿命化を行っていくことを記載しており、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>
<p>切れ目ない学習機会の充実（文化）（P27）</p>		
5	<p>長期的展望からの観光事業を考察すると、現状に歴史的遺産の発掘・埋もれた遺跡の整備等による観光事業の拡充になるのではないかと。一過性の観光事業ではなく、教育的に特徴のある糸島を。</p>	<p>本市の歴史・文化についても重要な観光資源であると捉えており、P35の「観光の成長産業化」において、観光客のニーズや地域資源を生かした観光を進めていくことを記載しています。</p> <p>また、埋蔵文化財の整備についても、P27の「切れ目ない学習機会の充実」において、文化財を保護・整備しながら啓発する取組を推進することを記載しており、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
6	糸島在住の若手芸術家等を育成すると共に、そのハード面としての美術館を広く・大きな箱物の整備・設置	<p>P 2 7の「切れ目ない学習機会の充実」において、子どもから芸術・文化にふれあう機会をつくっていくとともに、芸術・文化活動を促進していくことを記載しています。</p> <p>また、公共施設につきましては、P 4 1の「公共施設マネジメント」において、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の統廃合や機能集約、施設の長寿命化を行っていくことを記載しており、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>
農林水産業の振興（P 3 4）		
7	野北漁港・福ノ浦漁港の有料駐車場を糸島市民限定無料カードの発行でレクリエーションの多様化（波止釣り e t c）に対応します。	<p>駐車料金などは、漁港施設の利用に対する受益者の負担です。漁港施設の維持管理や周辺の環境美化等に使用される財源ですので、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>
都市機能の充実（P 3 7）		
8	糸島には今、市民がゆっくりくつろげるような場所がありません。海に見える様な所に2～3時間ぐらくつろげるような場所があれば最高です。例えば、植物公園（花園・バラ園など）や遊園地などがあればと思います。外部からの客にも喜ばれると思います。	<p>現在、海辺の市の施設としては、加布里公園や二丈交流体験広場（二丈深江）、福吉しおさい公園（二丈吉井）、芥屋キャンプ場などがあります。</p> <p>P 3 7の「都市機能の充実」において、地域の特性を生かした公園づくりを進めていくことを記載しており、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
9	<p>市内6ヶ所のゴルフ場（伊都・芥屋・雷山・二丈・志摩シーサイド・クイーンズヒル）の協力を得て、糸島市民限定ゴルフプレイ割引（例えば65才以上・レディース＝3千円引き、一般市民2千円引き）事業を具現化し、他市住民との差別化と健康づくり、仲間づくりを目指します。</p>	<p>市民の交流や健康づくりは重要ではありますが、ゴルフ場料金の糸島市民限定の割引について、営利を目的とした民間事業者であるゴルフ場に協力を求めることは困難と考えられるため、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>
交通環境の充実（P38）		
10	<p>交通インフラ充実の一環として、拾六町料金所の混雑・渋滞解消策として、福岡都市高速道路の前原IC迄延伸事業を推進します。</p>	<p>福岡都市高速道路は福岡北九州高速道路公社が、西九州自動車道は福岡県道路公社が管轄しており、糸島市の長期総合計画で福岡都市高速道路の延伸を計画することはできませんので、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
交通環境の充実（P38） ※駅のバリアフリー化に関する意見等		
11	<p>高齢者にも乳幼児を抱える若い世代にも安心して安全に暮らせるまちでありたいと願います。公共交通の充実を願っています。JR筑肥線沿線だけでなくJRの駅から北へ南への公共交通を充実してほしい。また、駅のバリアフリー化のためにエレベーター未設置の駅には早急に設置してください。利用者は増加すると思います。</p> <p>最後に幅広い年代でキャリーバックで旅行する方が増えているようです。</p>	<p>「交通環境の充実」において、駅のバリアフリー化に関する多くの意見等が寄せられました。</p> <p>駅の自由通路は、駅施設ではなく、市の道路であるため、P38の「道路などの整備」において、バリアフリー化の推進を記載していましたが、市民に分かりやすく明記するため、文言を変更します。</p> <p>《変更内容》 38ページ 政策（3）道路などの整備 6行目 「バリアフリー化などを推進し」→「駅周辺などのバリアフリー化を推進し」に変更</p>
12	<p>市の公共施設のバリアフリー化を進めてほしい。特に階段の多い駅のエレベーターの設置は必要ではないでしょうか。</p>	
13	<p>高齢化社会によって駅にエレベーターがないのでJRの利用がしにくく不便です。</p>	
14	<p>筑肥線の駅のバリアフリー化がなされると、お年寄り、小さな子供達の家族も増え、糸島市がもっと発展するのではないのでしょうか。</p>	<p>なお、基本構想（案）において、個別の整備を記載することはありません。</p>
15	<p>政策（2）交通環境の充実に最も重要な公共交通であるJR筑肥線のバリアフリー化についての記載がないのは残念。ぜひ加えていただきたい。</p> <p>例えば、ワンランク上の姿「公共交通だけでなく」→「公共交通の利用拡大を図るだけでなく」</p> <p>政策の方向性「鉄道を軸として・・・高めていきます。」→「鉄道を軸として・・・高めていきます。なお、鉄道については、駅にエレベーターを設置する等、駅のバリアフリー化に努めていきます。」</p>	<p>個別の事業については、国の整備方針や財政状況、他事業との優先順位などを総合的に判断し、決定していくこととなります。</p>
16	<p>皆が安心して暮らせるまちづくりに、誰もが使える公共交通機関の充実はかせませません。高齢者にも乳幼児を抱える若い世代にも安全で安心して利用できるよう、全てのJR各駅にエレベーターを設置してほしい。</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
17	<p>快適で住み良い町づくりの為、公共交通インフラの充実を願っています。</p> <p>福岡都市圏からの観光地・都市圏のベッドタウンとして発展して行く為には、J R 筑肥線沿線だけでなく、J R 駅からの海へ山への公共交通を充実してほしい。また駅のバリアフリー化の為、エレベーター未設置の駅には早急に設置してください。J R の利用者は増加すると思います。</p> <p>このままでは、将来転出希望者も増えているようです。</p>	
18	<p>交通環境の充実において、鉄道を軸として、公共交通ネットワークの利便性を高めるとされています。このためには、軸とされている J R 駅のバリアフリー化は欠かせないものであり、基本構想への記載をお願いします。</p> <p>推計人口は、令和 7 年をピークに総人口の減少、高齢者の増加が見込まれています(P16)。</p> <p>移住促進、転出抑制などの人口減少対策だけでなく、近年増加している高齢者の自動車事故対策からも交通環境の整備は大切なことあります。ネットワークの軸となる J R 駅のバリアフリー化は、市民の安全、利便性を向上させネットワークの充実をより高めるものと考えます。</p>	
19	<p>私が美咲が丘に住んで早や 2 3 年。当時若かった住民も高齢化が進んできました。特に美咲が丘は高台に位置している事から、高齢者には大変です。糸島市が高齢者を含め、住み易さを求めた町づくりを目指すためには、公共交通機関の駅にエレベーターを設置し、バリアフリー化を進めてほしいと思い、ぜひ市の長期総合計画の中にも明確に加えて頂きたいと思います。</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
20	<p>糸島市は今全国的にもスポットをあびています。その中の住宅地に直結している南風台・美咲が丘地域をカバーする美咲が丘駅にエレベーターが未だ設置されていない事は不便でなりません。安心して住む街、元気に通勤できる街をつくっていく事は、今後の糸島を考える上で、大事な点だと思います。その為にも早急なエレベーターの設置を強く望みます。</p>	
21	<p>第2章の2、ワンランク上のまちづくりの中に、「市民が安心して住み続けたいと思えるまちづくり」とあるが、どの町も高齢化が進んでいる中で、ワンランク上の生活を目指すなら、高齢者や社会的弱者に誉めてもらえる町づくりが必要。バリアフリーをと大きく掲げているが、美咲が丘駅などは高齢者のみならず多くの人々にとって問題の場所である。</p>	
22	<p>「ユニバーサルデザインなどの考え方」「多くの市民が快適に利用できる公共交通網の形成」といった文書が並ぶ中で、美咲東、美咲西、荻浦の三行政区民（1,500軒以上）が居住する真ん中にあるJR美咲が丘駅にエスカレーターやエレベーターが無いことが理解出来ない。高齢者、ベビーカー利用者、キャリーバック使用者に冷たい公共施設であることは間違いない。</p>	
23	<p>第2次糸島市長期総合計画の中の公共交通機関の充実の中に、JR駅周辺インフラの整備（最低でもエスカレーター or エレベーターの設置）を記載して欲しい。恥ずかしながら糸島市のJR駅のバリアフリーは劣悪であります。</p> <p>日本の首都東京でも、23区の中、屈指の閑散駅は「上中里駅」だそうです。ここは、改札口は1ヶ所、出た先は長い坂道と長い跨線橋だそうです（ヤフーニュースより）。美咲が丘駅もそうならない様、願っています。</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
24	<p>美咲が丘駅近くに住む高齢者です。車の免許証も返納し、駅の何10段も有る階段を登り降り出来るのも時間の問題です。そうなれば福岡市内の便利な場所へ引っ越します。</p> <p>ベビーカーを押す若い人も住めないでしょうね。</p>	
25	<p>市役所、銀行、図書館等、公共の施設に行くのに、乗り物は筑肥線一本。その駅が68段の階段を登り、降りしなければ乗れない状態の町に、免許を返納した人、ベビーカーを押す人が住みたいと思いますか？</p>	
26	<p>自動車の運転ができなくなったとき、鉄道は大変有難い交通手段になります。美咲が丘に住むことを決めたとき、住宅地と駅が近くてとても便利な所だと思っていました。しかし、実際に住んで駅を初めて利用した時に高低差のある駅なのにエレベーターがないことにおどろきました。一直線上に1階から3階くらいまで上がるように続く階段はとてもきつく感じます。先日は息を切らして途中で休けいされている方をお見かけしました。又、小さな子どもを連れた母親には、とても危険です。ベビーカーといっしょに赤ちゃんを抱いているあの階段を降りるのは大変だと思います。少子高齢化対策としてもエレベーターの設置を切に願います。</p>	
27	<p>少子高齢化が進むなか、医療機関の受診率も増え、人身事故のリスクを考え、自動車免許の返納も増えているかと思います。そういう中、公共機関の必要性（生活における）は増しており、その一つである駅にエレベーターがなく高齢者や妊婦、小さなお子様連れのかたの利用に支障がでることは望ましくないと考えます。大げさかもしれませんが引越しや人口減につながる可能性もありエレベーターの設置（美咲が丘駅）の検討をよろしく願います。</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
28	<p>通勤でJR美咲が丘駅を利用しています。利用者の方の中には高齢者も多くホームから階段を辛そうにゆっくりと時間をかけて上られています。JR筑肥線ではエレベーターの設置が進み多くの駅で見かけますが、残念ながら前原駅以西の駅では、その動きが鈍いようです。高齢者はもとより、小さなお子さんがある方も安心して利用できるよう、エレベーターの設置をふくめ駅の質の向上を図っていただきたい。</p>	
29	<p>美咲が丘駅にエレベーターを作って欲しい。 お年寄りだけでなく乳幼児をベビーカーに乗せている人にも必要と思う。日本一住みたい町が、これから人口減になりますので、早目に一生住みたい街になる様をお願いします。</p>	
30	<p>美咲が丘駅等、エレベーター未設置の駅にエレベーターを設置してほしいです。高齢化に向けて。</p>	
31	<p>ふだんは前原駅を利用しているのですが、美咲が丘に行く機会があり、エレベーターがないことを知りました。 高齢化社会の今、エレベーター、エスカレーターは必要だと思います。また、大切な未来の子ども達（幼児）を育てているお母さん方にとっても便利かと思えます。</p>	
32	<p>糸島に住み始めてJR筑肥線を利用し、美咲が丘駅で乗り降りしていますが、自分が障がい者になり、階段を利用するのが大変で、エレベーターかエスカレーターがあれば、どんなに良いかと思っています。老人や体の不自由な人にとって利用しやすい駅で、是非エレベーターの設置をお願いします。</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
33	<p>健康な方には、わかりにくいと思いますが、高齢者にも乳幼児を抱える若い世代にも安心して暮らせる糸島市にしてほしいと思っています。美咲が丘を利用して感じることは、駅に是非エレベーターがほしいです。</p>	
34	<p>現在、美咲が丘に住んでいますが、交通機関を利用する度、大きな荷物を持ち、急な長い階段をのぼる又おりの事が苦になります。是非、駅にエレベーターを設置、お願いします。</p>	
35	<p>美咲が丘駅にエレベーター（エスカレーター）を設置してください。JRの美咲が丘駅は現在、私が住んでいる住宅地の造成完了に合わせて平成7年11月に出来た新駅ですが、24年を経過しております。駅が出来た当初は、利用する美咲が丘の住民は30歳代～50歳代の人達でしたので、駅のホームより、67段の階段を上がる事はそんなに抵抗はなかったのですが、24年後の現在は美咲が丘地区（2行政区 835所帯 2,455名）の内、就学前の子供90名・65歳以上の高齢者413名の人達が日夜不便を感じながら住んでいる現状です。特にここ数年、集合住宅に住んでいる若い夫婦に子供ができると交通の便（エレベーター等）が設置されている地区へ移転して行き、若い人達の住みにくい町になっております。</p> <p>このままでは糸島市のモデル住宅地と言われた美咲が丘は、若い人たちが減少し、老人団地と言われるのが目に見えています。若い人達が安心して子育てが出来る環境が大事と思われれます。その第一歩として、美咲が丘駅にエレベーター（エスカレーター）の設置が町の発展に必要な設備です。</p>	
36	<p>年齢を重ねるとJR美咲が丘駅の階段は苦痛です。</p> <p>1日も早くエレベーターなりエスカレーターの設置をと思います。政府は老人の年金からしぼりとれるだけ取っているのだから！！</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
37	<p>私は糸島市に居住して10年近くになります。天神迄用事があるときはバスを利用していますが、姪浜や西新に行くときは電車を利用しています。週2度程外出しますが、美咲が丘駅を利用します。(バスは途中下車できませんので)最近高齢化の域に達し、ヒザが痛くて階段の昇り降りに苦労します。エレベーター、エスカレーター等、駅のバリアフリーを是非検討していただくことを切望いたします。</p>	
38	<p>交通環境の充実</p> <p>これから運転免許の自主返納で、JR、バスを利用する高齢者が増えるし、交通環境の充実は賛成します。</p> <p>今まで母は足が悪く、JR美咲が丘で下車していたが、仕方なく前原駅まで向かえに行っておりました。若い母さんもベビーカーだと利用できないでしょう。弱者にやさしい具体策として、エレベーター未設置駅には、ぜひ設置を計画してほしい。</p>	
39	<p>南風小学校に入学する児童は年々減少傾向にあり、今年度の新一年生の数は100人を切ったと聞いています。将来的に南風小学校は介護施設への構想があると噂で聞いたことはありますが、小さな子どもを抱えた親が住みたいと思える街か?と疑問を持ちます。</p> <p>子どもを抱っこ、或いはベビーカーを持って急な階段を登るには危険であるし、介護施設が増え、車椅子、お年寄りにとっても不自由です。私には高校生の息子がおりますが、部活で足を骨折などすれば、毎日、筑前前原駅まで送迎する他ないだろうと思います。</p> <p>皆が住みやすく、気持ち良く過ごせる為には、エレベーターの設置は急務を要するのではないかと考えます。是非ご検討頂きたいと思えます。</p> <p>「弱者に手を差し伸べられる優しい街づくり」を!</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
40	<p>今回の基本構想案にＪＲ駅のバリアフリー化に関することが入っていないのは残念です。私の近くの美咲が丘駅は特に階段の傾斜が急で、エレベーターまたはエスカレーターの設置要望は、いろいろな機会でお伝えしています。基本構想見直しへのステップの一つとして平成２６年に開催された糸島市社協のワークショップでもエレベーター設置要望に関する意見は多数出されています。是非基本構想に加えていただきたいと思います。</p>	
41	<p>高齢者にも、乳幼児を抱えるお父さん、お母さん達にも住みやすい、また「小さい孫達が電車が好き」と言ってくれて、この美咲が丘の駅に遊びに来れる為に、その姿を私達老夫婦はエレベーターを使って待つことが出来る様に、１年でも２年でもいいので早いバリアフリー化の完成を願っています。</p> <p>この美咲が丘に住まいを構えて２０年になりました。６０代の私達が長寿１００才時代になって、この地域で車を手放す時が近づいているのです。公共交通機関である美咲が丘駅のバリアフリー化を進めて頂き、人口が減らない様に、若い住民が増えて、住みつづけたい町になると思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。</p>	
42	<p>いつも私たちが住む町は、高齢者にも若い世代にも安心して安全に暮らせる町であってほしいと願っています。特にこれから高齢化が進む美咲が丘周辺の住民にとっては、交通の便が大切になっています。しかしながらＪＲ美咲が丘駅の階段の上り下りが大変な為、美咲が丘駅を利用できない人もたくさん見受けられます。</p> <p>美咲が丘駅にも早急にエレベーターかエスカレーターの設置をお願いします。設置されれば、乗降客も増加すると思われますし、住民が安心して安全に暮らせる町づくりの一端として有意義であると断言いたします。</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
43	<p>私は、今のところ階段の上り下りは何とかなります。でも荷物が多くて重い時はつらいです。前原駅のエスカレーター、エレベーターは楽ですね。</p> <p>美咲が丘駅にもエレベーターをつけてください。いずれやってくる足への負担を軽くしてください。</p>	
44	<p>市の基本構想に美咲が丘駅のエレベーター新設を明記していただきたいと思います。現在、筑肥線は姪浜駅から筑前前原駅まではエレベーターが完備されております。しかし美咲が丘駅には未設置で、高齢者やお体の不自由な方々は、駅が近くにあるのに利用できない状況であり、エレベーターの設置は喫緊の課題です。又エレベーターが設置されれば、駅周辺の宅地化、住宅化が進み人口も増え、駅の利用者も増えて周辺の活性化に繋がります。どうか公共交通機関のバリアフリー化をお願いします。</p>	
45	<p>36ページの「政策（2）交通機関の充実」に最も重要な公共交通機関である、JR筑肥線の駅のバリアフリー化について触れられていないことについて不十分さを感じます。</p> <p>例えば、ワンランク上の姿「公共交通だけでなく」→「公共交通の利用拡大を図るだけでなく」</p> <p>政策の方向性、「鉄道を軸として・・・途中省略・・・高めていきます。」→「鉄道を軸として・・・途中省略・・・高めていきます。なお、鉄道については、駅にエレベーターを設置する等、駅のバリアフリー化に努めていきます。」</p> <p>（特に美咲が丘はJRが中心となって開発し、駅の設置も行われた街でもあり、インフラの充実に向けて当該企業等への積極的アプローチを是非お願いいたします。</p>	
46	<p>JR筑肥線、美咲が丘のバリアフリー化で是非エレベーターの設置をお願いします。高齢者にも乳幼児にも、美咲が丘駅の不便さは</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
	<p>感じています。</p> <p>特に団地から改札口まで、改札口からホームまでの階段は急で、乳幼児の方は無理です。こんな駅は見たことがありません。是非早急な設置をお願いします。</p>	
47	<p>「公共環境を充実させる」という方向性には大賛成です。ここへ軸となる鉄道のバリアフリー化をぜひ加えていただけたらと思います。</p> <p>最寄りの美咲が丘駅に階段しかないことが大変不便です。乗降客が多い中、片腕に子どもを抱き、片腕にバックとベビーカーをかついで階段をのぼる人、高齢で足元に注意を払いながら、ゆっくり下る人がいて危険です。いずれも過去の自分、未来の自分の姿で、どうにかならないかと思えます。</p>	
48	<p>「政策（２）交通環境の充実」とありますが、その軸となる鉄道において一部の駅でのバリアフリー化が出来ていない現状は問題ではないでしょうか。私が通勤に利用している美咲が丘駅は階段がなく、お年寄りが苦勞して階段を上っている姿を見かけることも多く、小さなお子さんを連れた母親や、目や足に障害を持った方が困られている様子も見かけます。南風地区は街が出来てから２０年、高齢者が増え、空き家も出るようになりました。このような街に新たな住人を呼び込むためにも美咲が丘駅のエレベーター設置は重要です。</p> <p>南風地区の誰もが住みやすい活気ある街にするため是非とも駅のバリアフリー化を計画に加えていただくようお願いします。</p> <p>因みに、美咲が丘駅は改札を１階に置き、１階から上にある美咲が丘までエレベーターを作るようにすれば、問題なく設置できるのではないのでしょうか。</p>	

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
環境の保全（P 3 9）		
49	<p>計画期間について、構想は2030年までとなっています。私は、過去及び計画期間中に生まれ得る超長期的視点で把握すべき（プロジェクトの）萌芽を取り込むシステムを内包する計画でありたいと考えます。</p> <p>21世紀は、環境の世紀でなければならないと考えていますが、その視点から、「伊都環境大学」といった学びの場の誕生を夢見ています。自然的・学研的風土に恵まれた本市ならではのプロジェクトだと思っています。</p> <p>このことはすでに九大の有志先生と少年少女の自然現場での学習に萌芽が見られ、発展的に組織する延長上に実現の可能性があると考えています。「環境都市いとしま」です。</p> <p>抽象語ではなく、プロジェクトとしてイメージできる像を、第3次計画つなげる方向性に埋め込まれるシステムをどこかに織り込んでほしいと思います。</p>	<p>環境問題は、大変重要な課題であり、P 6の「世界規模での環境保全」で、環境の重要性や取組の必要性などを記載しています。</p> <p>また、P 3 9の「環境の保全」において、環境教育の充実を図っていくことを記載しており、基本構想（案）は、現行のままとします。</p> <p>なお、ご意見につきましては、今後、策定していく前期基本計画（基本構想に基づく主な施策）や実施計画（前期基本計画に基づく具体的な事業）の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見等の概要	意見等に対する考え方
政策推進マネジメント（P40）		
50	<p>さらなる経費削減と市民サービスの維持・向上を図るため、「幅広い概念の公民連携（PPP）による民間の創意工夫と民間投資を最大限活用します。」となっています。政策マネジメントの項では、経費面での効果的、効率的な視点に目がゆきすぎて、夢を育む価値についての視点が足りないように思います。遠い将来、大きく羽ばたく夢は、今も誰かの心に宿っているかもしれません。早い段階から、そういった「つぼみ」を見つけておく必要があります。レバレッジ効果の高い施策には、重点投資をすることも大切に思えます。そのような仕掛けの記述がほしいです。</p> <p>たとえば、「経費削減に努めつつ、市民サービスの維持・向上、<u>市民の夢の発掘、開花の誘導</u>を図るため、とか。</p> <p>ちなみに、道に駅の発想を生んだシステムもそうでしたが、類似のシステムとして、20年続いている「建設コンサルタンツ協会九州支部夢アイデア」（←検索してご覧ください）という事業は参考になるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、政策推進マネジメントは、経費の削減だけでなく、最小の経費で最大の効果をあげるために、民間の活力などを生かしていくものです。</p> <p>また、市民サービスの維持・向上だけでなく、将来を見据えた新たな施策の展開にも民間活力の導入は重要になってきます。</p> <p>その点を分かりやすく明記するため、文言を変更します。</p> <p>《変更内容》 40ページ 政策推進マネジメント 8行目 「さらなる経費削減と市民サービスの維持・向上を図るため」→「さらなる経費削減と効果の最大化、市民サービスの維持・向上、将来を見据えた新たな施策の展開を図るため」に変更</p>
土地利用の基本方針（P42）		
51	<p>基幹的交通体系に関しては、道路系とマストラ系は分けて記述すべきではないでしょうか。筑肥線から分岐して、九州大学伊都キャンパス東、大学内（または縁）を西進して西門、再び前原駅付近に至る、軌道系の新設は何らかの表現で記述しておいてほしいと思います。（旧帝大クラスの総合大学で、マストラがないのは九大だけです）</p>	<p>JR筑肥線と九州大学伊都キャンパスを結ぶ軌道系については、検討は進めていますが、基本構想（案）に明記できる状況には至っていませんので、基本構想（案）は、現行のままとします。</p>